

2013年6月7日

世界に向けて情報発信

小堀康功先生〈群馬大学客員教授、小山高専教授〉が、
旭化成エレクトロニクス、AKM テクノロジ、旭化成パワーデバイス
群馬大学 理工学研究院 電子情報部門 小林・高井研究室 との
共同研究成果として 下記で参加・発表されました。

Yasunori Kobori, Feng Zhao, Quan Li, Murong Li, Shu Wu, Zachary Nosker,
Shaiful N. Mohyar, Nobukazu Takai, Haruo Kobayashi
Takahiro Odaguchi, Isao Nakanishi, Kimio Ueda, Jun-ichi Matsuda
"Single Inductor Dual Output Switching Converter using Exclusive Control
Method", IEEE International Conference on Power Engineering, Energy and
Electrical Devices, [Istanbul, Turkey](#) (13-17 May 2013).

<http://www.powereng2013.org/>

書きとどめよ。議論したことは風の中に吹き飛ばしてはならない。(ガリレオ・ガリレイ)

学会の様子 (小堀先生より)

学会では、ゲストスピーカーが大会場 (1,000人以上の容量) で講演しました。
朝早い講演では人は少なく、10時過ぎくらいに1/3程度埋まりました。

Paper Presentation は11室の小部屋で実施され、聴講論文が重なり
部屋の移動に大変でした。(多くの人が入り出りしていました。)

Poster Session 火曜日午後5~6時開催でした。

最初 聴講者は少なかったので自分の写真を撮ってもらったのですが、
途中から聴講者が大幅に増えはっきりなしの説明でした。

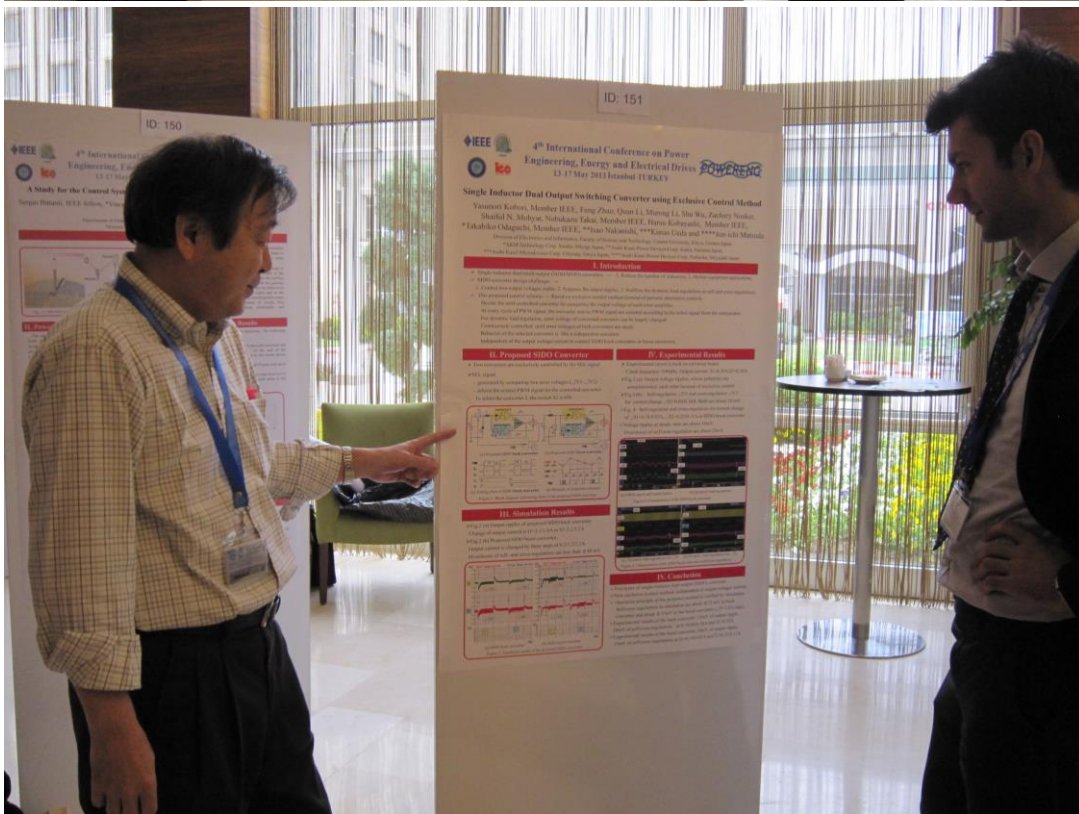
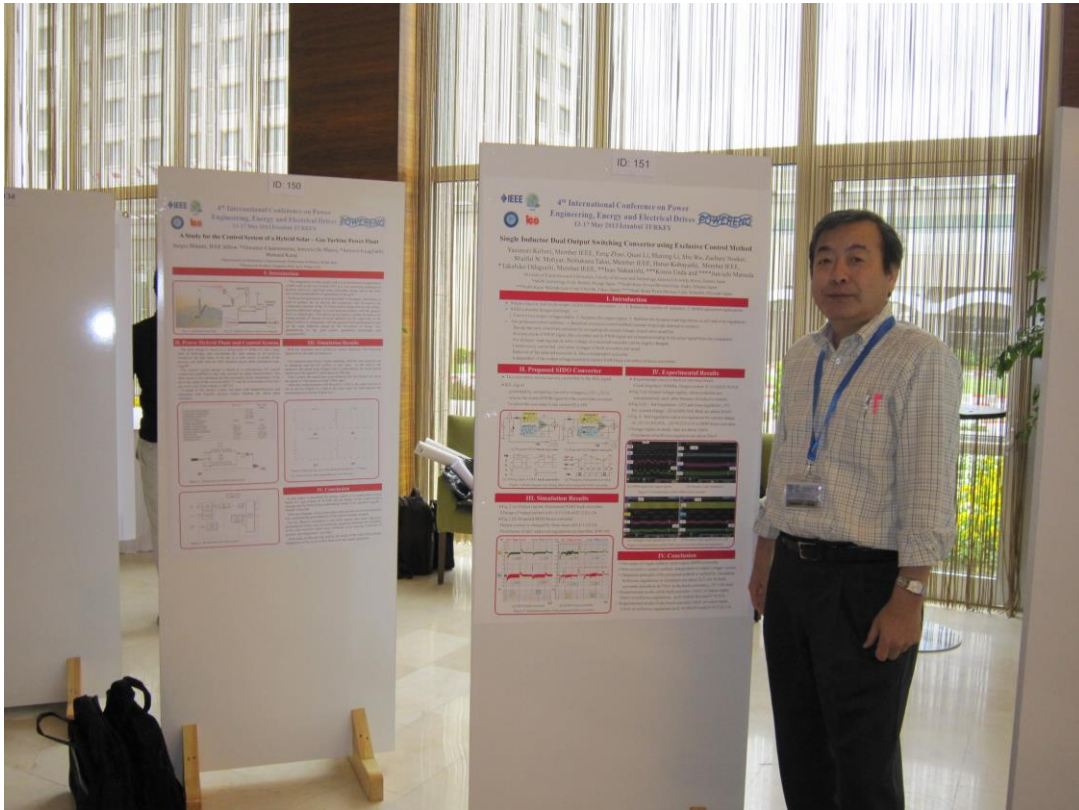
Good Job! の言葉も多数 いただきました。

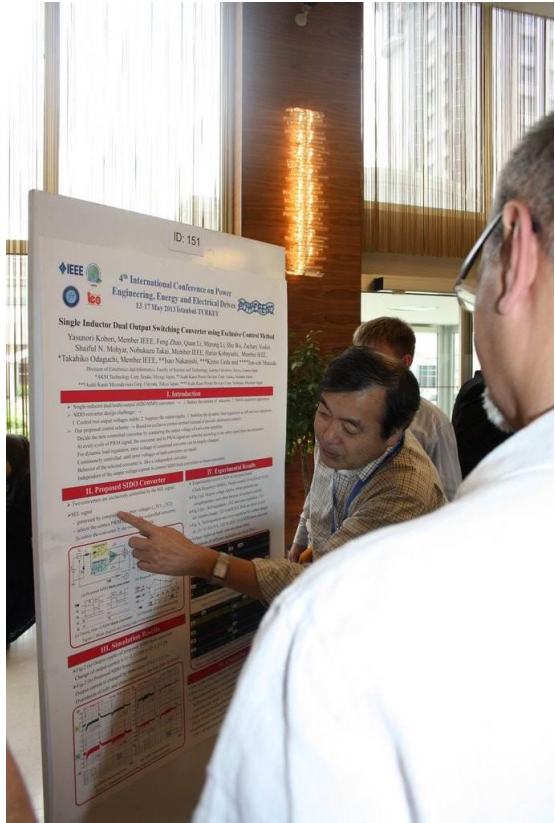
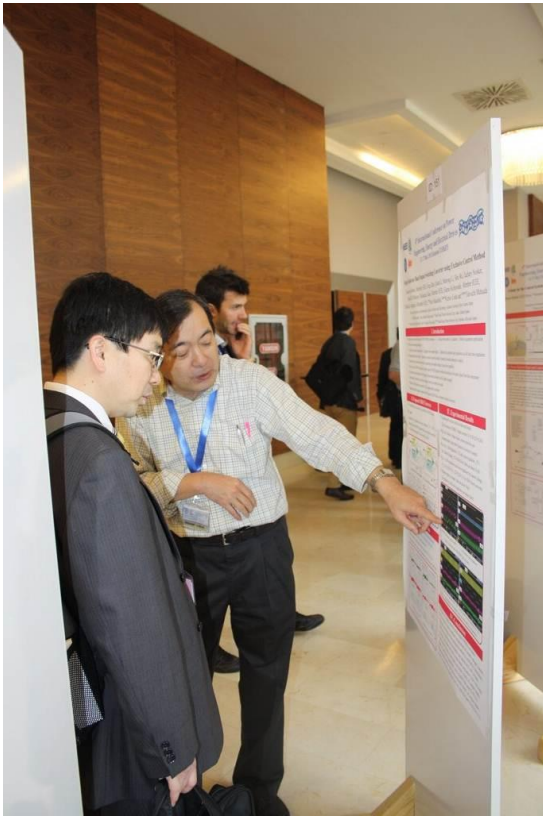
持参した Poster Copy, Paper Copy も多く配りました。

日本からは、長崎大学 (黒川先生) の他に、名古屋工業大学、福岡大学より
発表者や聴講者が来られていました。

文責 群馬大学 小林・高井研究室

小堀先生のポスター発表





ポスター発表会場







プレナリーセッション会場







口頭発表会場





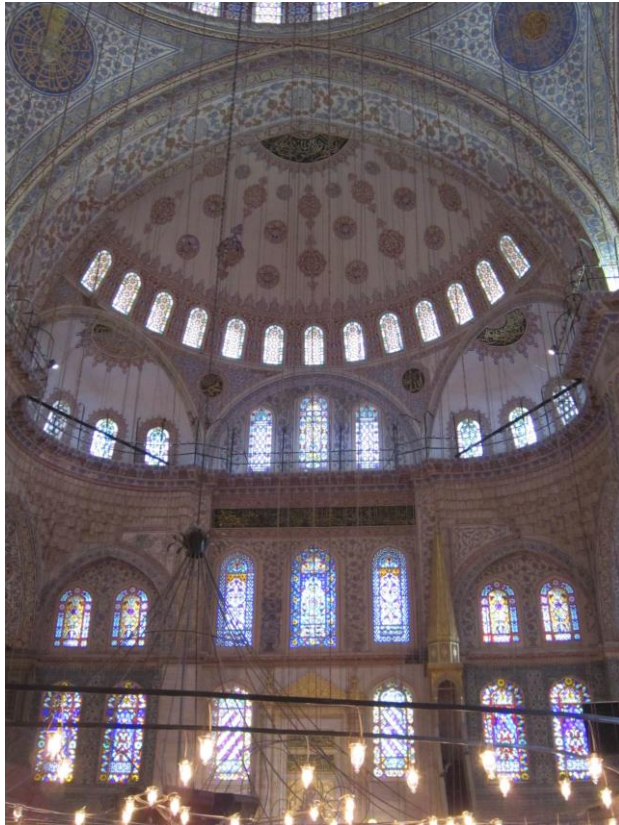




イスタンブール







イスタンブール (Wikipedia より)

トルコ最大の都市で、トルコの経済、文化、歴史の中心地。

人口は1,350万人を擁し

バルカン半島で最大、ヨーロッパで最大規模の都市圏の一つ。

トルコ北西部に位置し、マルマラ海と黒海を結ぶボスポラス海峡を挟んで2大陸間に股がった都市である。市域はボスポラス海峡を挟んで東のアジア側と西のヨーロッパ側両方に拡がり、西側の市域は金角湾で南北に分かれる。

商業や歴史の中心はヨーロッパ側に広がり、住民の3分の1はアジア側に居住。



サライブルヌの岬に紀元前 660 年にビュザンティオンとして創建された。

330 年にコンスタンティノープルとして再建されて以降 16 世紀の間、
ローマ帝国 (330-395)、ビザンティン (395-1204, 1261-1453)
ラテン帝国 (1204-1261)、オスマン帝国 (1453-1922) と 4 つの帝国の首都。

1453 年にオスマン帝国により都市が征服され コンスタンティノープルの
陥落以前のローマやビザンティンの時代はキリスト教発展の要であった。

征服後はイスラームの中心やオスマンのカリフの中心に変わった。

2010 年には約 700 万人の海外からの観光客が訪れ、世界で 10 番目の観光地。

世界都市であり、多くのトルコの企業やメディアの拠点があり、
トルコの国内総生産の 4 分の 1 以上を占める。